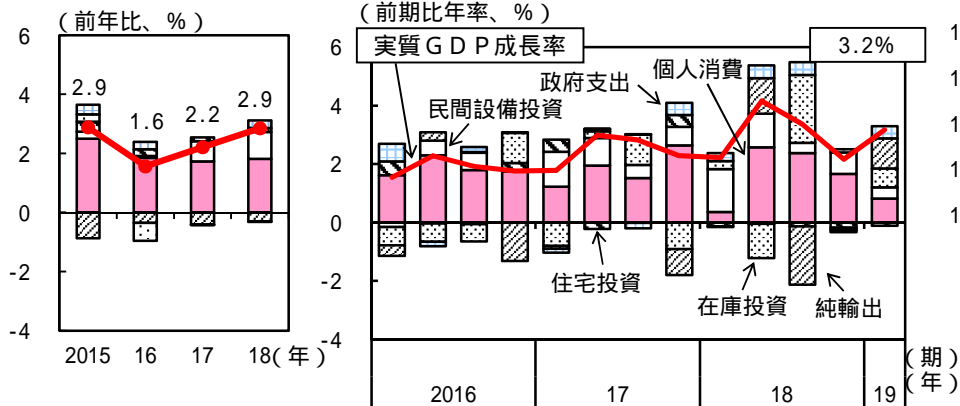


1. アメリカ

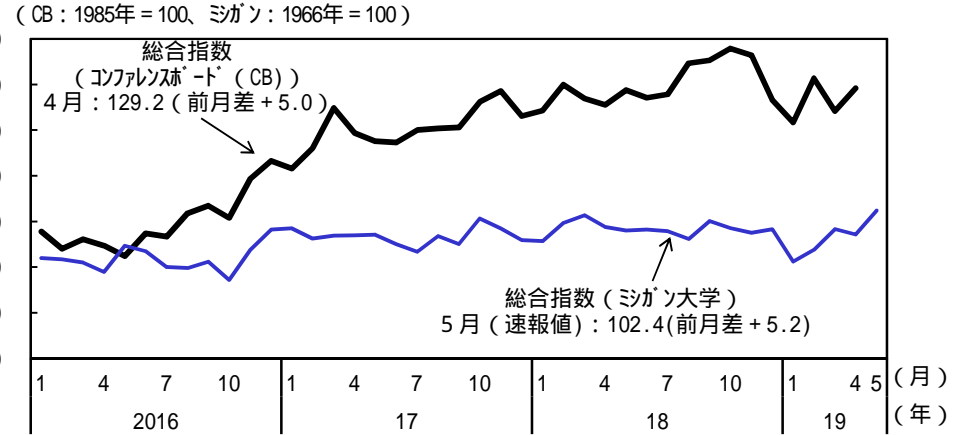
アメリカでは、景気は着実に回復が続いている。

実質GDP成長率（1次推計値）
2019年1 - 3月期は前期比年率3.2%成長

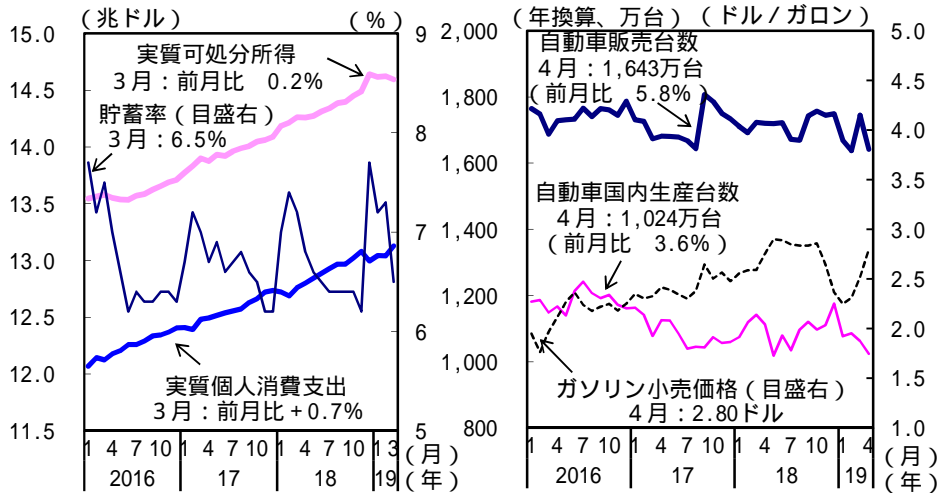


(備考) 2019年1 - 3月期の寄与度 (%) は以下のとおり。個人消費: 0.8、民間設備投資: 0.4、住宅投資: 0.1、在庫投資: 0.7、政府支出: 0.4、純輸出: 1.0。

消費者信頼感指数

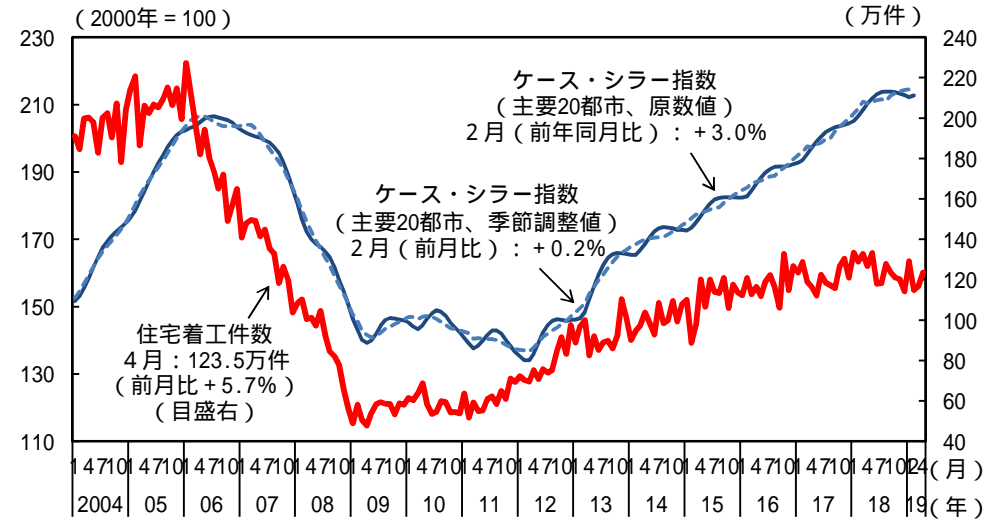


消費は増加、自動車販売台数はこのところ弱含み

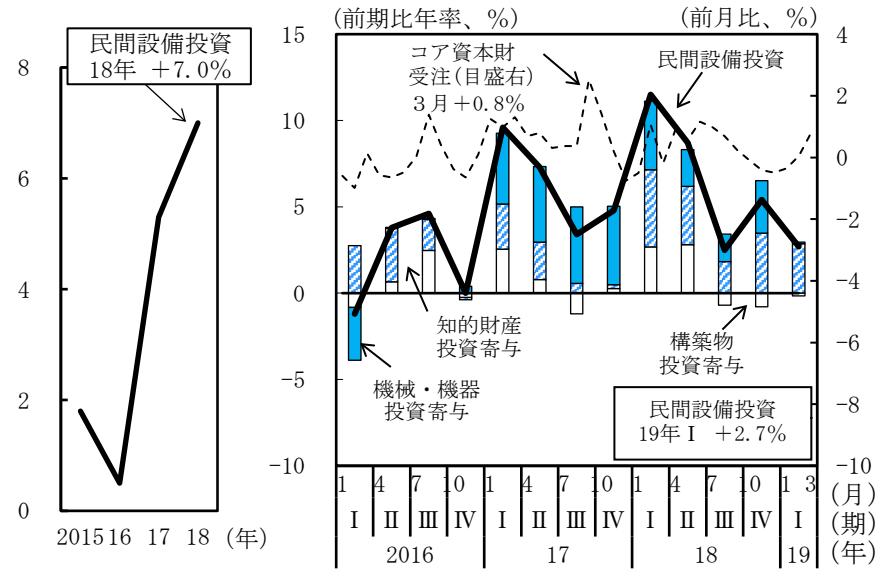


(備考) 月次の値は年率換算。

住宅着工はおおむね横ばい、住宅価格は伸びがやや低下

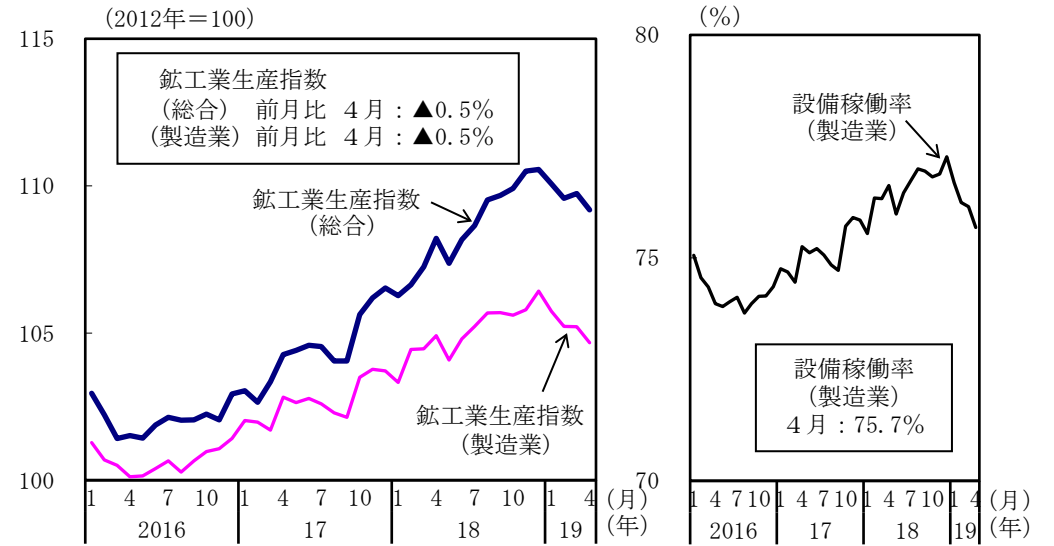


④設備投資は緩やかに増加

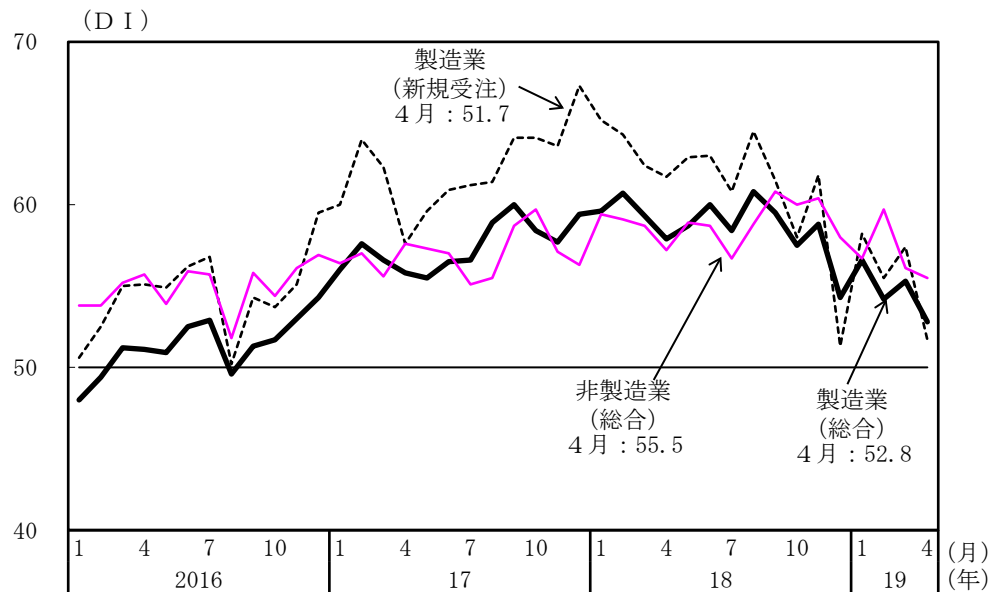


(備考) コア資本財受注は3か月移動平均値。

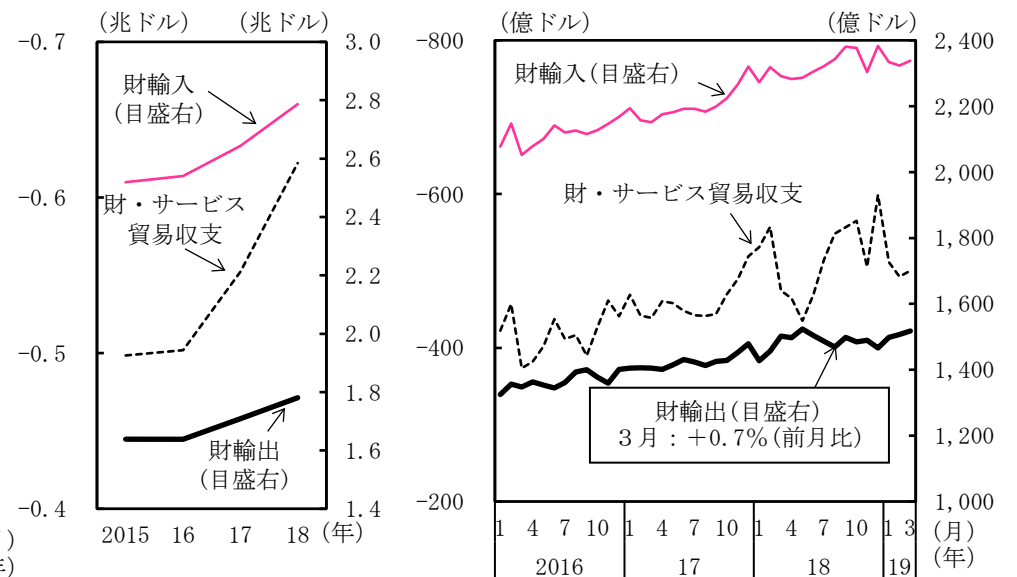
⑤生産はこのところ弱い動き



製造業の景況指数はこのところ低下

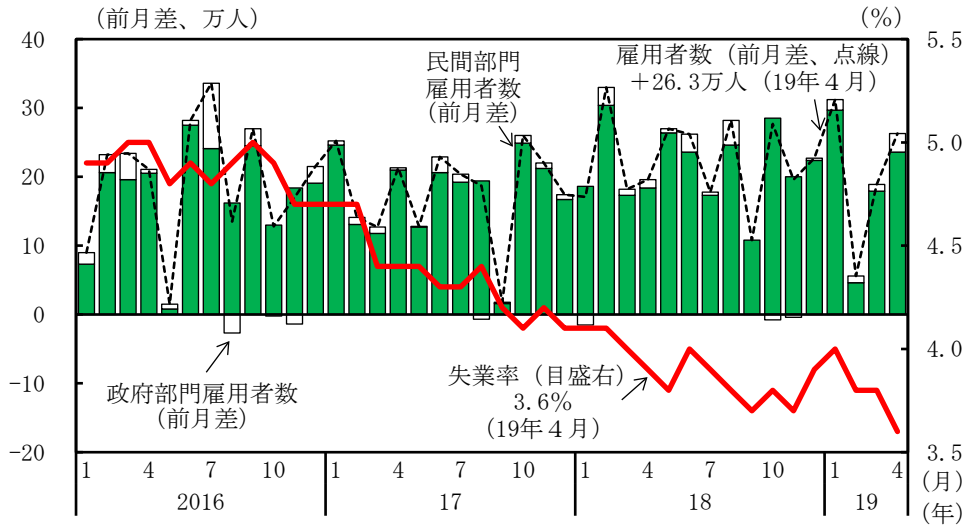


⑥財輸出はこのところ持ち直し



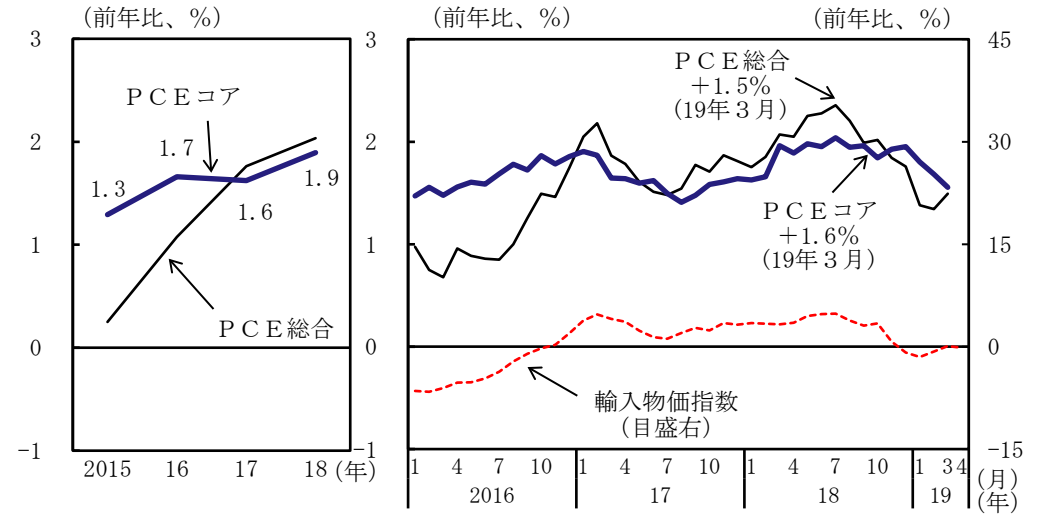
(備考) 財輸出入は通関ベース(実質)、財・サービス貿易収支は国際収支ベース(名目)。

⑦雇用者数は増加、失業率は低下傾向



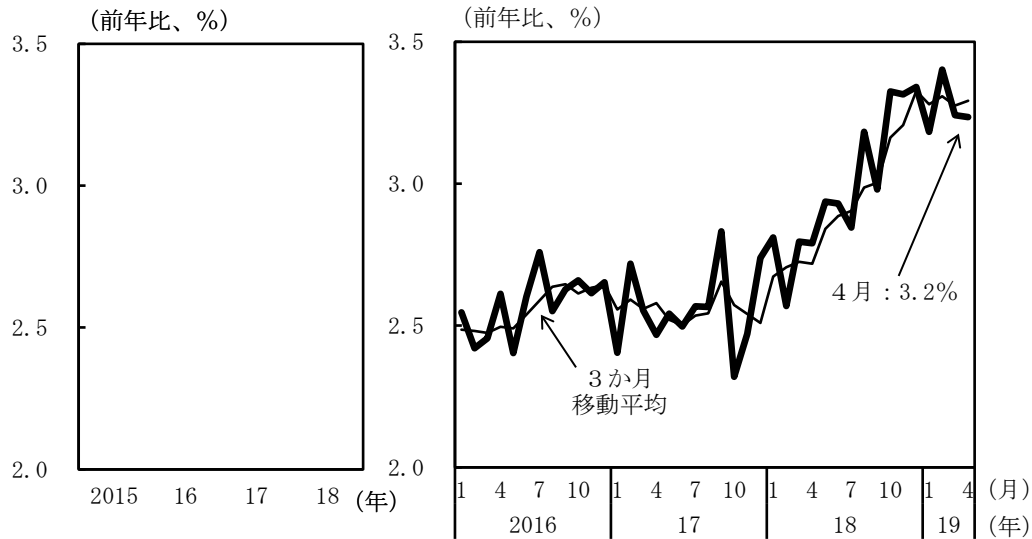
(備考) 雇用者数は非農業部門。

⑧コア物価上昇率はこのところやや低下



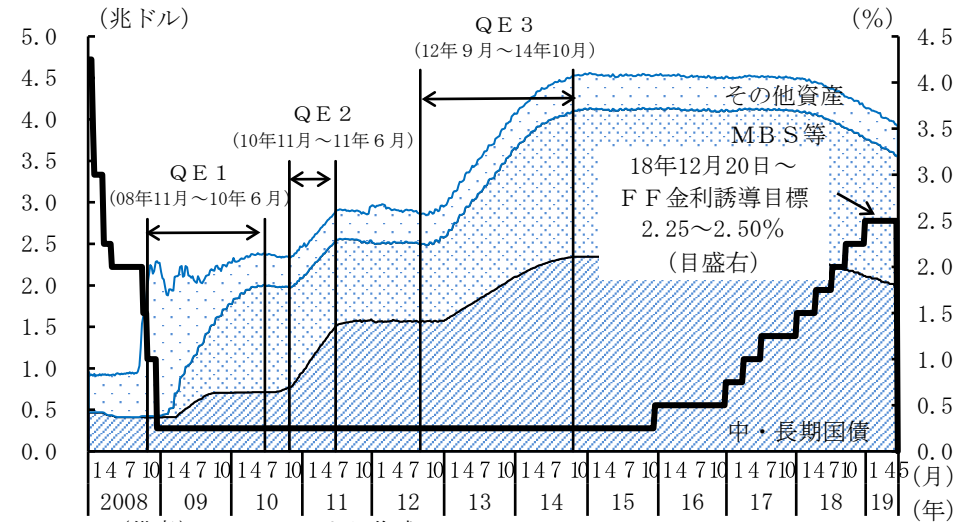
(備考) 1. 上図のPCEは、個人消費支出デフレーターを指す。
2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。

賃金の伸びは高まっている



(備考) 賃金の伸びは全雇用者の時間当たり賃金の前年比。

金融政策



(備考) 1. FRBより作成。
2. FF金利誘導目標については、上限を指す。